

平成28年度 四国4地区 技術開発懇談会の開催報告

「技術開発懇談会」は、大学等の「研究成果(シーズ)」と四国地整の「事業を進めるために欲しい技術(ニーズ)」をお互いに知ること、双方の研究や事業を効率よく進めるための情報交換の場となっています。

香川地区(11月10日:会場「香川大学」:参加者31名)、愛媛地区(11月16日:会場「愛媛大学」:参加者45名)、徳島地区(11月17日:会場「徳島大学」:参加者39名)、高知地区(11月22日:会場「高知工科大学」:参加者26名)の4会場で開催し、お互いに研究内容等を報告し、意見交換をしました。



【参加機関】

《大学等》 香川大学、愛媛大学、徳島大学、高知工科大学、高知工業高等専門学校(高知大学は日程が合わず、今年は欠席)

《四国地整》 道路部、徳島河川国道事務所、那賀川河川事務所、四国山地砂防事務所、香川河川国道事務所、松山河川国道事務所、大洲河川国道事務所、山鳥坂ダム工事事務所、高知河川国道事務所、中村河川国道事務所、中筋川総合開発工事事務所、土佐国道事務所、吉野川ダム統合管理事務所、野村ダム管理所、大渡ダム管理所、四国技術事務所、小松島港湾・空港整備事務所、高松港湾・空港整備事務所、松山港湾・空港整備事務所、高知港湾・空港整備事務所、高松港湾空港技術調査事務所

大学からの研究発表が9件、整備局からの課題等報告が13件、情報提供が1件発表されました。それぞれの発表に対して、質問やコメント、アドバイスなどがあり、有意義な懇談会となりました。

また、建設関係機関が募集している技術研究助成制度(2機関)を紹介しました。

本懇談会が、官学の連携を強め、今後の業務や研究の進展に寄与することを期待します。